

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グリーンフロント堺寮Ⅱ期計画	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市堺区匠町12番地の一部	構造	RC造
用途地域	法22条地域、工業専用地域	平均居住人員	184人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年7月27日
敷地面積	6,218㎡	作成者	馬場 あさひ
建築面積	1,049㎡	確認日	2018年8月6日
延床面積	5,065㎡	確認者	小坪 忠彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 建物高さや形状を周辺施設と合わせ、統一感のあるまちなみとしている。 居住者数に対し十分な駐車場・駐輪場を確保し、周辺道路に配慮した計画となっている。 居室部は開口を広く設け換気や採光が可能で、省エネにも配慮した設計となっている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 自然換気に有効な開口部を十分確保することで、空気質環境向上をはかっている。 専用部の開口部を広くすることで、快適な室内環境を提供している。	Q2 サービス性能 各居室に光ケーブルを設置し情報通信設備の充実や、天井高を十分確保し、居住者の快適性に配慮している。 また、防汚性の高い建材や耐用年数の長い内装材を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 隣地境界線にメッシュフェンスを設け、防犯性に配慮している。 敷地内に広場を計画し、植栽の樹種は周辺施設に色調を合わせ、まちなみの統一感に配慮している。
LR1 エネルギー 高効率空調機器の採用、全面的なLED照明の採用を実施する事で一次エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計とする。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の使用や節水型便器の採用により、エネルギー資源の負荷低減に配慮している。	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計から二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化抑制へ貢献している。 また居住者のための自転車置場や、駐車スペースを十分に確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)グリーンフロント堺寮Ⅱ期計画	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区匠町12番地の一部	0.9	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 5,064.69 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
エネルギー削減	2	
建物の断熱性	3	
安全快適な暮らし	3	
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	2.5	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.0	2
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0	3
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	